

第 10 章 さまざまな情報資源 目次

10.1 情報資源の検索

10.1.1 書籍の検索

- (1) OPAC
- (2) NDL-OPAC
- (3) CiNii Books
- (4) 検索のコツ

10.1.2 学術文献の検索

- (1) CiNii Articles
- (2) J-Global
- (3) Google Scholar
- (4) その他の専門データベース
- (5) 原文へのアクセス

10.1.3 新聞記事の検索

- (1) カレントな記事
- (2) アーカイブ

10.1.4 一般雑誌の検索

- (1) CiNii Articles
- (2) 雑誌記事索引集成データベース
- (3) 大宅壮一文庫雑誌記事索引

10.1.5 司法・立法・行政資料の検索

- (1) 裁判所
- (2) 国会議事録
- (3) 総務省

10.1.7 事典

10.2 ウェブサイト

10.2.1 有用なサイト

10.2.2 レポートで引用できるサイト とできないサイト

10.2.3 過去のウェブページ

10.3 検索エンジン

- (1) 検索エンジンの仕組み
- (2) 検索エンジンで見つかる情報
- (3) 検索エンジンで見つからない情報
- (4) 卒論・レポートでのウェブ情報の利用

10.4 ウィキペディア

- (1) ウィキペディアとは何か
- (2) ウィキペディアの記事の問題点
- (3) 卒論・レポートでのウィキペディアの利用

第 10 章 さまざまな情報資源

10.1 情報資源の検索

10.1.1 書籍の検索

(1) OPAC (無料)

ほとんどの大学図書館、公共図書館は蔵書目録を OPAC (Online Public Access Catalog) として公開している。多くの場合、蔵書はタイトル中の語や件名 (統制語) で検索できる。「件名」は、あるテーマについて決まったことばで検索できるので便利であるが、すべての図書に付与されているわけではないので、検索に漏れが生じることがある。最近では書籍の目次データも追加されつつある。

(2) NDL-OPAC (無料)

国立国会図書館 (National Diet Library: NDL) は、納本制度により、わが国で出版されたほとんどの書籍を所蔵している。したがって、その蔵書目録、NDL-OPAC は戦後日本で発行されたほとんどの書籍が登録されていると考えられる。もちろん、同人誌、自費出版など、納本されなかった本は所蔵されていない。

NDL-OPAC は蔵書目録と雑誌記事索引が一緒になっている。したがって、「簡易検索」で検索すると、雑誌記事が多数ヒットしてくる。本だけ検索したい場合は、「詳細検索」を選択し、「資料種別」を全解除してから「図書」を選択する。「キーワード」で検索すると、タイトル、著者、出版社、件名、を一緒に検索してしまうので、ノイズが増える。その場合は「タイトル」、「件名」などを別々に検索するとよい。

The screenshot shows the NDL-OPAC search interface. At the top, there are navigation links for 'お知らせ', 'サービス案内', 'ヘルプ', and 'English'. Below these are buttons for 'マイリスト', '検索履歴', and 'ログイン'. The main navigation bar includes '点検全経目', '全国書誌提供サービス', and '国立国会図書館サービス'. The search options are categorized into '簡易検索', '詳細検索', '雑誌記事', '規格レポート類', '占拠関係', '検索式', and '検索語一覧'. The '詳細検索' section is active, showing a search form with the following fields and options:

- Keyword: []
- And [] タイトル [] 通信販売 OR 通販
- or [] 著者 [] 通信販売
- And [] 出版者 []
- And [] 請求記号 []
- And [] 選択してください []
- And [] 選択してください []
- And [] 選択してください []

Additional options include: 著者名・件名典拠検索, 登録番号・コード, NDLC, NDC, 広範囲に検索(ノイズ多め)(日中韓), フレーズ検索(欧文).

Below the search form, there are checkboxes for '資料種別': 全選択, 全解除. Selected options include: 図書, 雑誌, 新聞, 電子資料, 和古書・漢籍, 博士論文, 地図, 音楽映像, 産物コレクション, 記事, 規格レポート類.

Other filters include: '所蔵場所' (全館), '出版年' (1995年のみ [1995]~[]), '雑誌・新聞以外' (<1995年以降 [1995]~[9999]), '1995年以前 [1000]~[1995]), and '本文の言語' (全て).

At the bottom, there are '検索' and 'クリア' buttons.

所蔵確認/各種申込み 全ての資料を表示する

-所蔵場所ごと [東京:科学技術経済室](#) **1**

-所蔵場所ごと [関西:総合閲覧室](#) **1**

資料種別 **図書**

請求記号 D4-J691

タイトル [通信販売企業名鑑 : インターネット通販・カタログ通販・テレビ通販 2013 /](#)

タイトルよみ ツウシン ハンバイ キギョウ メイカン : インターネット ツウハン・カタログ ツウハン・テレビ ツウハン. 2013.

責任表示 ボイス情報株式会社企画開発部 調査・編集

出版事項 [東京]:ボイス情報, 2012.8.

形態/付属資料 618p.; 26cm.

価格等 50000円

全国書誌番号 22171621

団体著者標目 [ボイス情報株式会社](#)

普通件名 [通信販売--名簿](#)

NDLC [D4](#)
[DH441](#)

NDC(9) [673.36](#)

本文の言語 jpn

国名コード ja

書誌ID 024034103

(3) CiNii Books (無料)

CiNii Books を作成しているのは、国立情報学研究所である。ここは、大学図書館のネットワークにより、日本の大学の蔵書総合目録を作成しており、これが CiNii Books として検索できるようになっている。したがって、検索できるものは日本全国の大学図書館の蔵書である。

NDL-OPAC と同様、簡易検索 (フリーワード) ではタイトル、件名、出版社名をまとめて検索してしまう。ノイズが多い場合は、詳細検索でタイトルまたは件名を使う (タイトルと件名の OR 検索はできない)。



図書・雑誌検索 著者検索 内容検索 (Beta) [日本の論文をさがす >](#)

▼ 詳細検索

タイトル タイトル完全一致 統一タイトルを含む

著者名 別名を含む

著者ID 統一タイトルID 出版者

ISBN ISSN NCID

件名 分類 注記

資料種別 言語種別 出版年 年 ~ 年

図書館ID 機関ID 地域

図書館ID・機関ID・地域を記憶する ローマ字をカナに変換

すべての資料 図書 雑誌

CiNii Books の回答の特徴は、その本を所蔵している大学図書館の一覧が同時に表示される点である。

電子商取引の進展：ネット通販とeビジネス

 **丸山 正博**
マルヤマ, マサヒロ

書誌事項	表紙
<p>電子商取引の進展：ネット通販とeビジネス 丸山正博著 八千代出版, 2011.2</p> <p>タイトル別名 Electronic business transaction タイトル読み デンシ ショウトリヒキ ノ シンテン : ネット ツウハン ト eビジネス</p>	 <p>Google Books</p>
<p>大学図書館所蔵 53件</p> <p>すべての地域 <input type="button" value="v"/> すべての図書館 <input type="checkbox"/> OPAJリンクあり 絞り込み結果: 53 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山学院大学 図書館 OPAC 001102424 青山学院大学 万代記念図書館(相模原分館) OPAC 881101649 亜細亜大学 図書館 OPAC 670/D 59 11198438 追手門学院大学 附属図書館 OPAC <input type="checkbox"/> 100041037 大阪経済大学 図書館 OPAC <input type="checkbox"/> 670/Mar 50061289 大阪産業大学 総合図書館 OPAC 670/65 04907804	<p>詳細情報</p> <p>NII書誌ID(NCID): BB04998734</p> <p>ISBN: 9784842915333</p> <p>出版国コード: ja</p> <p>タイトル言語コード:</p>

なお Weecat Plus も同じデータベースを使ったサービスであるが、こちらは、本のタイトルなど自由に文章を入れることで関連する書籍を検索できるところに特徴がある。

(4) 近代デジタルライブラリーと国立国会図書館デジタル化資料（無料）

国立国会図書館では、2002年以降蔵書の電子化をすすめてきた。このうち明治以降の図書のうち著作権上問題ない47万点が「近代デジタルライブラリー」としてインターネットで公開されている。図書については目次が入力されているので、比較的検索しやすい。またすべてのデジタル書籍174万点が「国立国会図書館サーチ」で検索できるほか、同図書館内では閲覧・複写できる。そのうち絶版図書約52万点については、国立国会図書館から公共図書館・大学図書館等に配信され、そこで閲覧できるようになった（以上平成24年度末）。



言語(Language):

近代デジタルライブラリー

Digital Library from the Meiji Era

国立国会図書館

明治以降に刊行された図書・雑誌のうち、インターネットで閲覧可能なデジタル化資料を公開しています。

お探しの作品、作者、テーマなどを入力してください

通信販売

テーマ検索
日本十進分類法(NDC)で検索します

詳細検索
項目ごとに条件を指定して検索します

近代デジタルライブラリー

検索結果に戻る 学理的商略法販売員と販売術

目次・巻号 書誌情報 サムネイル一覧 先頭 前 次 最終 コマ番号 2

書誌情報

簡易レコード表示にする

資料種別 (materialType)
Book

タイトル (title)
学理的商略法販売員と販売術

タイトルよみ (titleTranscription)
ガクリテキ ショウリョクホウ ハンパイイント ハンバイジュツ

著者 (creator)
依田信太郎 著

著者標目 (creator:NDLNH)
依田, 信太郎

著者標目よみ (creatorTranscription:NDLNH)
ヨダ, シンタロウ

出版地 (publicationPlace)
東京

出版者 (publisher)
博文館

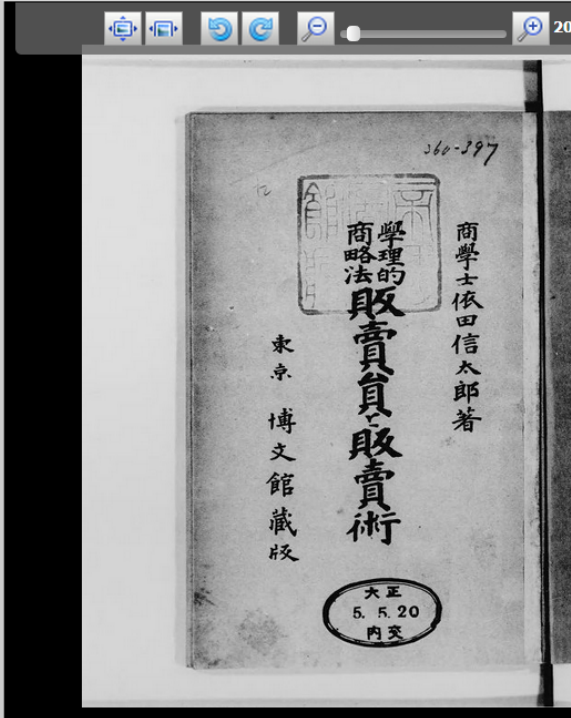
出版者よみ (publisherTranscription)
ハクブンカン

出版年月日 (issued)
大正5

出版年月日 (W3CDTF形式) (issued:W3CDTF)
1916

フォーマット (IMT形式) (format:IMT)
image/jp2

容量・大きさ (extent)
200 10



(5) 検索のコツ

一般に書籍を検索するには、広めのキーワードを使う必要がある。これは、一般に一冊の本は多様なトピックを扱っており、その結果タイトルが広めにつけられているからである。たとえば「渥美半島の花」についての本を探す場合、「渥美半島」に加えて、「愛知」、「三河」、「東海」などのキーワードが、「花」に加えて「植物」、「生物」などのキーワードが必要になる。ただし CiNii Books の最近の書籍や「近代デジタルライブラリー」のように目次が検索できる場合は、もっと特定のキーワードが使える。

10. 1. 2 学術文献の検索

学術文献の検索ツールは、それが扱っている学術分野、収録対象記事、収録対象国、検索範囲などの違いがある。ここでは、無料で利用できるツールについて説明する。

ツール名	学術分野	収録対象記事	収録対象国	検索範囲
CiNii Articles	全分野	国立国会図書館雑誌記事索引 大学紀要 (JAIRO) 引用文献索引対象記事	日本	主としてタイトル、一部抄録
J-Global	主として科学技術	JST が作成する科学技術文献データベース	世界	タイトルと抄録
Google Scholar	全分野	ウェブにある学術論文らしい記事 出版社から収集した書誌 CiNii Articles の一部記事	世界	タイトル、抄録、一部全文

(1) CiNii Articles (無料)

CiNii Articles は国立情報学研究所 (National Institute of Informatics: NII) が提供している文献検索サービスである。情報源は、国立国会図書館雑誌記事索引 (NDL-OPAC)、大学紀要 (JAIRO)、引用文献索引対象記事、NII で電子化している雑誌、などである。

多くの記事はタイトル中の語だけで検索することになるが、一部記事は抄録の語も検索対象になる。CiNii Articles の特徴としては、科学技術・人文・社会科学を含め、日本の学術論文が広く検索できる点である。見つかった記事には原文へのリンクがある場合がある。

CiNii Books と同様、簡易検索 (フリーワード) の場合はタイトル、著者名、出版社名をまとめて検索するので、細かく検索する場合は「詳細検索」を選択する。

論文検索 著者検索 全文検索 [大学図書館の本をさがす](#)

▼詳細検索

論文名

著者名 著者所属 刊行物名

ISSN 巻 号 ページ

出版者 参考文献 出版年 年から 年まで

すべて CiNiiに本文あり CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

検索

[CiNii本文収録刊行物ディレクトリ](#)

検索結果: 8件中 1-8 を表示

新しいウィンドウで開く 実行 すべて選択 200件ずつ表示 出版年: 新しい順 表示

<input type="checkbox"/>	ドイツにおける通信販売契約撤回に関する消費者保護の動向	1
	CiNii 廣瀬 孝寿 北九州工業高等専門学校研究報告 45, 113-118, 2012-01-00 CiNii 外部リンク	
<input type="checkbox"/>	二律背反の消費者保護と悪質消費者の排除 膨張続ける通販業界の光と影--"クレームビジネス"も跋扈	2
	半田 隆一 月刊times 35(6), 26-28, 2011-07-00	
<input type="checkbox"/>	消費者保護と特定商取引法(3)通信販売取引及び電話勧誘販売取引の場合	3
	河津 八平 社会文化研究所紀要 (60), 31-146, 2007-07-00	

NII は主要な雑誌について引用文献索引を作成しているので、引用文献から検索できる記事もある。

論文検索 著者検索 全文検索 [大学図書館の本をさがす](#)

▼詳細検索

論文名

著者名 著者所属 刊行物名


ISSN 巻 号 ページ

出版者 参考文献 出版年 年から 年まで

すべて CiNiiに本文あり CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

検索

[CiNii本文収録刊行物ディレクトリ](#)

 情報検索能力試験の概要とインフォプロになるための受験のすすめ(<特集>インフォプロいちねんせいプロをめざすスキルアップ)
Introduction of the qualifying examination for a database searcher and an advice to take it for becoming information professional(<Special feature>To become an information professional-skill improvement method-)

 原田 智子
HARADA Tomoko
鶴見大学文学部
Tsurumi University, School of Literature

参考文献: 10件 

この論文を読む・さがす

Cinii PDF [Cinii 論文PDF - オープンアクセス](#)

NDL-OPAC [NDL-OPAC - 国立国会図書館でさがす](#)

Cinii Books [Cinii Books - 大学図書館でさがす](#)

プレビュー



収録刊行物

 情報の科学と技術 [巻号一覧]
情報の科学と技術 61(4), 168-171, 2011-04-01 [この号の目次](#)
社団法人情報科学技術協会

参考文献: 10件中 1-10件 を表示

- | | | |
|--|---|---|
|  | <no title>
三輪京木子
サーチャーの時代: 高度データベース検索, 1986
被引用文献1件 | 1 |
|  | 2010年度情報検索基礎 応用能力試験受験案内
情報科学技術協会
http://www.infosta.or.jp/shiken/2010anna.html
被引用文献1件 | 2 |
|  | <no title>
時実 象一
情報検索の知識と技術, 2010
被引用文献1件 | 3 |

各種コード

NIJ論文ID(NAID):
110008661135
NIJ書誌ID(NCID):
[AN10008857](#)
本文言語コード:
JPN
資料種別:
REV
ISSN:
09133801
NDL 記事登録ID:
11030355
NDL 雑誌分類:
ZU8(書誌:図書館・一般年鑑-
図書館・ドキュメンテーション-
文書館)

(2) J-Global (無料)

J-Global では日本と世界の科学技術文献が検索できる。海外の文献については日本語でタイトルや抄録が収録されているので、日本語で外国文献が検索できる。

また研究者名、研究機関名、研究テーマなども検索できる。J-Global では、人文・社会科学のキーワードを入れた場合、あまり文献が見つからない。しかし、そのテーマを研究している研究者が見つかるので、その記事からその人が書いた著書や文献もあわせて調べることができる。



「通信販売 OR 通販」の検索ヒット数 ↑別名・同義語を検索に加えると、ヒット件数を増やすことができます

すべて 1,012件 | 研究者 93件 | 文献 316件 | 特許 588件 | 研究課題 5件 | 機関 4件 | 科学技術用語 3件 | 化学物質 0件 | 遺伝子 0件 | 資料 3件 | 研究資源 0件

絞り込み検索 ?

基本情報別のヒット数 ?

- 研究者 (93件)
- 文献 (316件)
- 特許 (588件)
- 研究課題 (5件)
- 機関 (4件)
- 科学技術用語 (3件)
- 化学物質 (0件)
- 遺伝子 (0件)
- 資料 (3件)
- 研究資源 (0件)

すべての検索結果: 1,012 件

表示順: スコア順 ? 表示数: 20 ? 検索結果の自動読み込み: ON OFF ?

用語 通信販売

主語カテゴリ: マーケティング、電気通信
同義語: 通信販売、mail order、mail order selling、mail order service、通販、...

文献 通信販売における商品イメージの差異—カタログ通販とインターネット通販での比較—

著者: 比嘉咲希(京都工繊大)、北口紗織(京都工繊大)、佐藤哲也(京都工繊大)
資料名: 日本繊維機械学会年次大会研究発表論文集・講演要旨集 巻: 63rd ページ: 120-121
発行年: 2010年

全文リンク なし | 複写サービス あり | その他リンク なし | 被引用文献 なし | 被引用特許 なし

「通信販売 OR 通販」の検索ヒット数 ↑別名・同義語を検索に加えると、ヒット件数を増やすことができます

すべて 1,012件 | 研究者 93件 | 文献 316件 | 特許 588件 | 研究課題 5件 | 機関 4件 | 科学技術用語 3件 | 化学物質 0件 | 遺伝子 0件 | 資料 3件 | 研究資源 0件

絞り込み検索 ?

現在の絞り込み条件
設定されていません。

所属

- 早稲田大学 (5件)
- 慶應義塾大学 (4件)
- 九州産業大学 (2件)
- 東京電機大学 (2件)
- 愛知学院大学 (2件)

もっと見る

職名

- 教授 (52件)
- 准教授 (7件)
- 助教 (6件)

研究者の検索結果: 93 件

表示順: スコア順 ? 表示数: 20 ? 検索結果の自動読み込み: ON OFF ?

研究者 横近 雅彦

ムネチカ マサヒコ
所属機関: 部署: 早稲田大学 職名: 教授
研究キーワード: 経営工学

研究者 村瀬 美代子

ムラセ ミヨコ
所属機関: 部署: 旧所属 中京短期大学 生活学科 職名: Dr.hc 教授
研究キーワード: 家政学

(3) Google Scholar (無料)

Google Scholar はインターネット上にある、「学術論文らしい記事」を集めているほか、主な学術出版社や CiNii などから、データを収集している。したがって、かなり幅広い記事が収録されている。収録範囲は科学技術、人文・社会科学の全分野である。

記事全文が入手できる場合には、引用文献も抜き出して収録しているほか、米国特許も収録している。したがって、検索の際、「引用文献を含む」、「特許を含む」のチェックをはずすのがよい。



通信販売 OR 通販



ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

巨人の肩の上に立つ



通信販売 OR 通販



Scholar

約 3,570 件 (0.05 秒)

期間指定なし

2013 年以降

2012 年以降

2009 年以降

期間を指定...

[インターネット通販と消費者の知覚リスク](#)

青木均 - 地域分析: 愛知学院大学経営研究所々報, 2005 - ci.nii.ac.jp

抄録 インターネット通販の消費者による利用度を向上させるため、消費者のインターネット通販に対する購買行動や心理を探る必要がある。本稿では、財を商品としたインターネット通販における消費者の購買に関する知覚リスクを整理し、その知覚リスクに対する緩和策を導出・整理すること ...

[引用元 5](#) [関連記事](#) [引用](#) [その他](#)

関連性で並べ替え

日付順に並べ替え

[PDF] [通信販売における商品特性](#)

関義雄, 馬淵キノエ - 香川大学経済論叢 第 67 巻第一号, 1992 - shark.lib.kagawa-u.ac.jp

生産、流通、販売、消費および廃棄のどの視点から商品を見るかによって商品特性は異なる。Z 商品の有用性、収益性、および低公害性は商品の 3 要件として受け入れられており、

商品はハードとしての品質だけでなく、ソフトとして

[引用元 1](#) [関連記事](#) [全 3 バージョン](#) [引用](#)

ウェブ全体から検索

日本語のページを検索

[PDF] [通信販売業における受注予測モデル](#)

松田芳雄, 海老原純二 - Direct Marketing Review, 2003 - unisys.co.jp

要約 通信販売業では、商品の仕入れを買取りで行っているため、売り切れによる機会損失や売れ残りによる過剰在庫が発生して深刻な問題になっている。そのため、商品発注を適正化するために、受注予測システムの開発に力を入れているが、満足なものは完成していない。本稿で報告する ...

[引用元 1](#) [関連記事](#) [全 3 バージョン](#) [引用](#) [その他](#)

特許を含める

引用部分を含める

Google Scholar では、原則として記事全文にリンクがある。

(4) その他の専門データベース

学術文献の検索ツールは多数あるが、それらデータベースの多くは有料で、自分が所属する大学などの図書館が購読している場合のみ利用できる。一部は公共図書館でも購読している場合がある。

(a) 総合データベース (購読)

科学技術全般 (一部人文社会科学) をカバーする総合データベースとしては、Web of Science, Scopus, JDream などがある。Web of Science と Scopus は引用文献索引がある。JDream は海外の文献のタイトルや抄録も日本語で書かれているという特徴がある。

(b) 専門分野データベース (購読)

学術の各分野に特化したデータベースがある。著名なものには、医学の PubMed, 医中誌 Web (日本の医学文献), 化学の SciFinder, や、D1-Law.com など法律関係のデータベースなどがある。PubMed は米国の医学図書館が作成しているので、無料で利用できる。他の

ツールは図書館購読が必要である。

(c) ディスカバリー・サービス (購読)

図書館の OPAC、文献検索の CiNii その他国内外のデータベース、電子ジャーナル、などの書誌データを統合して検索できるようにしたツールである。図書館の蔵書、学術文献、その他の情報がまとめて検索できる。日本で使われているものには、Summon, Primo Central, EBSCO Discovery Service (EDS)、WorldCat Local などがある。

(5) 論文原文献へのアクセス

前記のような学術文献検索ツールを使うと、かなりの割合で原文献へのリンクが見つかる。そのリンクをクリックした場合、原文が読める場合と読めない場合がある。これは次のような理由による。

(a) 無料論文

大学の紀要に掲載された論文のほとんどは、誰でも無料で読んだり、ダウンロードしたりすることができる。また雑誌論文であっても「オープンアクセス」と呼ばれる論文は無料で読むことができる。

(b) 大学図書館が購読している雑誌の論文

所属機関の図書館が購読している雑誌の論文は、その大学内からは自由に読んだりダウンロードできる。雑誌によっては、外部からも大学システムにログインして利用できる。

(c) 大学図書館が購読していない雑誌の論文

所属機関の図書館が購読していない雑誌の論文は、直接読むことはできない。その場合は図書館相互貸借 (ILL) を利用して複写を入手するか、急ぐ場合は直接購入 (pay-per-view) することになる。

10. 1. 3 新聞記事の検索

(1) 最近の新聞記事

1980年代に各社で新聞製作の電子化が行なわれたので、それ以降の新聞記事は新聞記事データベースに収録され、タイトルや記事本文のことばから検索できる。全国紙では次のようなデータベースがある。記事イメージがある場合は、写真や図表もみることができる。新聞記事データベースを利用するには、すべて購読が必要である。

ツール名	対象新聞	遡及年（全文検索・記事イメージ）	記事イメージ	アーカイブ遡及年（キーワード検索・紙面イメージ）
聞蔵	朝日新聞	1984	PDF	1879
ヨミダス	読売新聞	1986	ビューア	1874
毎索	毎日新聞	1987	×	1872
日経テレコン 21	日本経済新聞	1981	PDF	1975 (抄録)

聞蔵IIビジュアル

使い方? 利用規定 ログアウト

メンテナンス 人物データベース:11月4日(月)10:00~11:00の間に約15分、人物DB検索が停止します。

朝日新聞1985~週刊朝日・AERA 朝日新聞縮刷版1879~1989 知恵蔵 人物 歴史写真 アジア・戦前戦中 アサヒグラフ 1923~1945

朝日新聞社 聞蔵IIビジュアル

検索一覧画面へ戻る

総件数: 2件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00001	2013年10月28日	朝刊	4社会	037	00595文字

震災記録をデータ化 宮城県図書館、チラシや写真収集 東日本大震災3年目

宮城県図書館が、県内の自治体が持っている震災の記録を集めて電子データ化し、インターネットで公開する準備を進めている。震災の教訓を後世に伝える防災教育などに活用してもらおうと、来年度の公開をめざしている。

県図書館は6月、県内35市町村に説明会を開いた。今月2日、参加に前向きな自治体と、収集や公開の方法について意見交換した。

対象は、自治体が作ったチラシや冊子、商業出版物ではない本、写真や動画など。電子データで残せば、複製や検索、閲覧が簡単にできるほか、

主要な地方紙も検索サービスを提供している。

(2) アーカイブ

主要な全国紙（朝日、読売、毎日）は、創刊時からの紙面をスキャンにより電子化し、こ

れにキーワードを付与して検索・閲覧できるようにしている。紙面画像なので、記事本文だけでなく、広告や連載小説・マンガも見ることができる。



明治5年（1872年）3月29日の東京日日新聞（毎日新聞の前身）紙面（「毎索」より）

10. 1. 4 一般雑誌の検索

(1) NDL 雑誌記事索引（無料）

国立国会図書館では、収集した主要な日本発行の雑誌に掲載された記事の書誌をデータベースとして提供している。

(2) 日外 MAGAZINE Plus（購読）

NDL 雑誌記事索引のデータベースを利用して、より使いやすくしたツールである。若干の追加記事もある。

(3) 雑誌記事索引集成データベース（購読）

「明治・大正・昭和前期雑誌記事データベース」に国立国会図書館の「雑誌記事索引」と「地方史文獻年鑑」などの地方雑誌のデータ（岩田書院等協力）を追加したデータベースで、戦前からの雑誌記事が検索できる貴重なデータベースである。NII の雑誌所蔵と連携している。

(4) 大宅壮一文庫雑誌記事索引（購読）

ジャーナリスト大宅壮一は、多数の雑誌を収集していた。そのコレクションを発展させ、雑誌に掲載されている記事にキーワードを付与して公開しているデータベースで、1988年

からの 370 誌から採録した 190 万件の記事が検索できる。総合誌、文芸誌、週刊誌、ビジネス誌、女性誌、男性誌、等、学術雑誌以外の一般雑誌の記事を調べることができる。

10. 1. 5 司法・立法・行政資料の検索

以下のツールは国の機関が無料で提供しているものである。

(1) 裁判所（無料）

最高裁判所、下級裁判所の各判例、知的財産裁判例の全文が検索できる。ただしすべての判決等が掲載されているわけではない。

(2) 国会議事録検索システム（無料）

1947 年の第 1 回国会以降の会議録が検索できる。ただし 145 回（1999 年）より前については OCR データである。また帝国議会の会議録画像も検索できる。

(3) 電子政府の総合窓口 e-Gov（無料）

日本政府の情報ポータルサイトで、法令情報検索、行政手続案内、パブリックコメント情報案内、組織制度の概要情報案内、行政文書ファイル管理簿等の情報提供サービス及び電子申請受付サービスを提供している。

(4) 政府統計の総合窓口 e-Stat（無料）

各府省等が登録した統計表ファイル、統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報、統計分類等の各種統計関係情報を提供しており、Excel, csv などの形式でダウンロードできる。

10. 1. 7 事典

大学図書館などで使われている JapanKnowledge は日本大百科全書（ニッポニカ）、デジタル大辞泉、日本国語大辞典、現代用語の基礎知識、など 40 以上のコンテンツを収録した事典ツールである。多くの大学が購読している。

10.2 ウェブサイト

ここでは、インターネット上のウェブサイトについて述べる

10.2.1 有用なサイト

(1) ポータルサイト

「ポータル」とは「入口」という意味で、ある分野について調査したい場合の手がかりとなるサイトである。リンク集とも呼ばれる。有用なポータルとしては、前述の e-Gov, e-Stat のように、公的機関が作成したもののほか、公的または公益機関が作成した情報センターサイトがある。図書館でよく使われるポータルサイトにはたとえば表のようなものがある。

	作成者	内容	URL
電子政府の総合窓口 e-Gov	総務省	法令情報検索、行政手続案内、パブリックコメント情報案内、組織制度の概要情報案内、行政文書ファイル管理簿等の情報提供サービス及び電子申請受付サービス	http://www.e-gov.go.jp/
政府統計の総合窓口 e-Stat	総務省統計局	政府各省庁の統計	https://www.e-stat.go.jp/
国立国会図書館サーチ	国立国会図書館	国立国会図書館をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等の資料検索	http://iss.ndl.go.jp/
著作権情報センター	著作権情報センター	著作権データベース、著作権 Q&A など	http://www.cric.or.jp/
日本中毒情報センター	日本中毒情報センター	日本中毒情報センター (JPIC) の概要 化学物質等に起因する急性中毒等について、一般国民及び医療従事者等に対する啓発、情報提供等	http://www.j-poison-ic.or.jp/

(2) その他公的・民間サイト

政府・官公庁、地方自治体、研究所、教育機関、団体、企業などのサイトは、通常その機関についての情報を集約しており、有用である。また前述のポータルとして機能しているサイトもある。

10. 2. 2 レポートで引用してよいサイトと好ましくないサイト

(1) 引用とは何か

著作権法第 32 条では、「公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行なわれるものでなければならない。」と書かれている。引用とは、他人の著作物（文章、画像など）を自分の著作物に取り込むことであり、上記の条件に合致すれば、無許諾でおこなうことができる。著作物を取り込むのではなく、単に出典を示すことを、引用と区別して「参照」という場合もある。

(2) 引用してよいサイト

公的機関や企業・団体のサイトは、その機関が責任を持って作成しているので、その内容についてはレポートなどで利用できる。また匿名でない個人が作成したサイトやブログ・ツイッターなどの記載も引用できる。責任ある企業・団体が作成した事典サイト（IT用語辞典、など）も利用できる。

(3) 引用が好ましくないサイト

一般に匿名で作成されたウェブサイトや、ブログ、ツイッター、各種投稿サイト、質問サイトなどの匿名の記述は、執筆者の責任が明らかでなく、また真偽の確認ができないので、特別の場合を除き、レポートなどで引用するのは好ましくない。これらの記載にはうわさ話や「やらせ」もしばしば含まれている。ウェブ上の事典サイトも、製作者が匿名のものは信頼性がない。ウィキペディアの記事も、そのまま引用することは避けた（次項）。

検索エンジンでよくヒットしてくるサイト（SpySee, Weblio など）には、ウィキペディアなどの記載をそのままコピーまたはリンクしているものもあるので注意が必要である。

(4) Web ページの引用とコピー

一般に匿名の情報は出典としては使わないことが望ましい。それは、名前と連絡先が記載されていない場合、情報の真偽を確認できないからである。これを追跡可能性（Traceability）という。匿名でないページは個人のページであっても引用することができる。

またウェブ情報は、十分調査しないで、個人の狭い経験や、聞きかじりで書かれている場合が多い。したがって、1つの情報源にたよるのでなく、なるべく多くの情報源を調べることがのぞましい。

ウェブ情報の特性として、簡単に書き換えられたり、削除されることがある。したがって、引用する際は、閲覧した日付を「2013/11/2 閲覧」のように記載するべきである。削除されたり改変されたページでも、日付が分かれば、国立国会図書館の「インターネット資料収集保存事業（WARP）」や、Internet Archive の Wayback Machine において、元のペ

ージが閲覧できる可能性がある。

10. 2. 3 過去のウェブページ

インターネットは生まれてから 20 年ほど経つが、すでに膨大なページが削除されたり書き換えられており、1 年前のページでも、元のままに存在するページはほとんどない。したがって、貴重な情報も失われてしまっている可能性がある。

インターネットのウェブページを文化遺産として保存するプロジェクトがある。有名なものは、国立国会図書館の「インターネット資料収集保存事業(WARP)」と Internet Archive の Wayback Machine である。



国立国会図書館 WARP にある「科学技術振興事業団」の 2003/9/30 のページ



Internet Archive の

Wayback Machine にある「科学技術振興事業団」の 1998/1/27 のページ

10.3 検索エンジン

10.3.1 検索エンジンの仕組み

検索エンジンとは、インターネット上に存在するウェブサイト（HTML で書かれたページ）を索引して、検索できるようにしたもので、よく知られているのは Google, Yahoo!, bing などである。さらに、ウェブページからリンクされている PDF その他のファイルも検索に含まれる。

検索エンジンでは、ロボット（クローラー）と呼ばれる自動プログラムが、インターネット上のウェブページを探して歩き、データを収集している。検索の対象となるのは、基本的に文字データのみである。画像検索は、画像の周辺にある文字列を頼りにしておこなっている。

10.3.2 検索エンジンの検索

検索エンジンの検索結果は、一般に適合順に表示される。適合順とは、検索した人が必要と思われる順という意味で、必要性は、検索キーワードの出現頻度、複数のキーワードの場合はその近接度（複数のキーワードが近くに、または隣接して存在するか）、サイトの重要性（公的なサイト、アクセス数の多いサイトなど）、などで判断する。

サイトの重要性の判断につかう手段としては、Google の Page Rank が有名である。これは Google の創始者 Page 氏が開発した方法で、あるサイトにリンクしている他のサイトの数が多いほど、そのページが重要であるというものである。そのサイトの重要性のポイントは、それがリンクしている他のサイトのリンク数を数える際に加重される。これにその他さまざまな要素を付加して、一番必要と思われるサイトを上位に表示する。ネット上でビジネスをおこなっている企業などでは、上位にくることが売上に直結するので、そのための努力をおこなっている。これを Search Engine Optimization (SEO) という。

検索エンジンの回答ページには広告が表示されている。これはあらかじめ登録したキーワードが入力したキーワードに一致したときに表示される。その表示順序は、登録キーワードの価格順となり、高い値付けをしたサイトが上位にくる。これは Google などの最大の収入源となっている。広告は背景色などで区別されている。

10.3.3 検索エンジンの限界

ロボットは、ウェブサイトにある robots.txt というファイルの指示に従って情報収集する。そこに収集禁止と書かれている場合は収集しないことになっている。また、OPAC のような検索データベースの場合、データベースの中まではロボットは進めないのも、一般

にデータベースにある情報は収集せず、したがって検索できない。このようなデータベースの中身のことを「深層ウェブ (deep web)」といい、検索エンジンでみつかる情報のことを「表層ウェブ (surface web)」という。

また、多くのウェブサイトは頻繁に書き換えられ、また削除されるので、過去の情報はそもそのウェブ上に存在していないという問題がある。

したがってウェブサイトを専門検索ツールと比較すると次のような得失がある。

	ウェブサイトで見つかる情報	ウェブサイトで見つからない情報	使うべきツール
新聞記事	最新の (今日の) 記事	過去の記事	新聞記事データベース
書籍	現在販売中の本	過去の本	OPAC 等
学术论文	ネットにある論文	大部分の論文	学术论文データベース
一般雑誌記事	ほとんどない	ほとんど全部の記事	雑誌記事データベース
司法・立法・行政情報	一部	大部分	司法・立法・行政情報データベース
特許・商標・意匠など	なし	すべて	IPDL など
事柄の解説	多数見つかるが、信頼性に問題	信頼できる解説	事典データベース
官公庁・公的機関・企業・団体サイト	公開されているページ	非公開のページ	
個人サイト・ブログ	公開されているページ	非公開のページ	
過去のサイト	あまり見つからない	ほとんど削除または書きさされている	ウェブアーカイブ

10.4 ウィキペディア

(1) ウィキペディアとは何か

ウィキペディアは協同制作による無料の Web 百科事典である。世界中の言語の版があり、日本語版（日本版ではない）もある。情報が豊富な点に特徴があり、英語版は 450 万件、日本語版は 90 万件の記事がある（2014/4 現在）。

Wiki (Media Wiki) というソフトを利用しており、誰でも記事の作成・編集ができるが、すべての編集記録が編集者名とともに記録されて、見ることができる。ユーザ登録しなくても編集できるが、その場合は IP アドレスが記録される。誤った、または適切でない記載があると、それを見つけた人が自由に修正することで品質を保っている。

(2) ウィキペディアの記事の品質

ウィキペディアでは、誰でも書いたり訂正したりできるので、不正・不適切行為が入り込む可能性がある。しかし最近はそのような事例は少なくなっている。ただし、しばしば編集者の間で論争になり、いわゆる「編集合戦」が起きることがあり、そのような場合は、選ばれた「管理者」がページを「保護」し、編集を一時的に禁止することがある。

一般に、しばしば閲覧される記事は、編集を重ねた結果として品質が高い。しかし、特殊な、一部のしか興味を持たないような記事は、作成後ほとんど編集が行なわれておらず、品質は低い。また日本語版では、出典の裏づけがない、「うわさ話」や本人の「意見」にすぎない記載も多い。

(3) 卒論・レポートでのウィキペディアの利用

ウィキペディアは、日常的には非常に便利であるが、卒論やレポートでは、あくまで調査の出発点として使うべきで、ウィキペディアの記載をそのまま引用したり、コピペすることは好ましくない。引用する場合は、そこに記載されている出典を読んで、それを引用すべきである。